



ましみの里

～幸せをつかむため、自ら考え行動する子供～

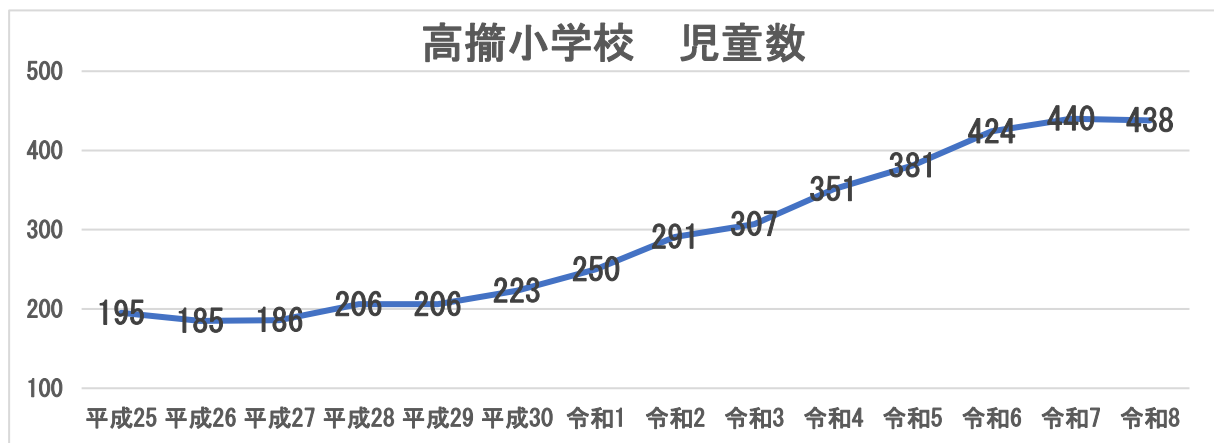
天童市立高掬小学校
学校だより No.1
令和8年4月20日
校長 鈴木博志

12年ぶりの・・・

令和8年度は、67名の新1年生を迎え、438名の全校児童、43名の職員でのスタートとなります。どうぞよろしくお願ひいたします。

改めて過去の児童数を調べてみますと、平成27年度以降、11年連続で児童数が増加していることがわかりました。ところが、コロナの影響があったのか、今年度は昨年度の4月より2名だけ児童数が減少しました。

増え続ける児童数もようやく天井が見えてきたのかと思っていると、来年度の新1年生は80名を超えるとの情報もあり、400人越えはもうしばらく続きそうです。



学校教育目標

今年度の学校教育目標は、昨年度にひき続き、

「幸せをつかむため自ら考え行動する子供」としました。

ここで言う「幸せ」の定義ですが、幸せな感情という意味の happy/happiness と、身体的、精神的、社会的に幸せな状態を表す well-being の両方を指しています。

実際に子供たちが幸せをつかみとるためには、以下の2つが大事だと思っています。

- ①幸せをつかむという目的に向かい、物事に意味や意義を見出して動ける子供
- ②幸せをつかみとる子供を育てるため、物事に対する意味や意義を語れる教職員

言われたから〇〇をする、怒られないように△△を守るといった状態では、幸せをつかみ取るのは難しいでしょう。自分の幸せな状態から逆算して、現在の行動を選択できる子供を育てていきたいと思ひます。保護者並びに地域の皆様のご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

裏面(2枚目)もご覧ください。

校歌の話

高揃小学校は、今年度創立153周年を迎えました。先日行われた創立記念式の中で、校歌にまつわる話をしました。

校歌
秋保光吉 作詞 工藤八郎 作曲
一 緑の風が さわやかに 土の香はこぼ 学びやに 真理の教え 胸にしめ 心とからだ きたえつつ 祖先のわざを 興すのだ われらは 高揃小学生
二 汲めどもつきぬ真清水は 心の泉 知の泉 働くまこと 仰ぎつつ 学びの道に 手をとりて 明日の日本を 背負うのだ われらは 高揃小学生
三 夕焼雲だ 西空に 月の御山が 呼びかける 雨風しのぎ はげめよと 希望にもえて 新しい 輝く道を 開くのだ われらは 高揃小学生

2番の歌詞にある「汲めどもつきぬ真清水は心の泉 知の泉」には、「どんなに汲んでもなくなる高揃の湧き水のように、みんなの心や知識も豊かにしていきましょう」というメッセージが込められています。

高揃地区は昔から水に恵まれた土地であり、現在も高揃小学校の東側に高揃水源地という施設があります。調べてみると1日にプール30杯分もの水を供給可能な施設なのだそうです。身近な施設でありながら、知らない子供たちも多かったようです。

3番の歌詞には「月の御山（みやま）が呼びかける 雨風しのぎはげめよと」というフレーズがありますが、これは「月山の神様が、『雨や風に負けないでがんばれよ』と私たちに呼びかけている」という意味です。

出羽三山の一つである月山に見守られながら、無限に湧き出る高揃の湧き水のように子供たちが豊かに成長していくことを、昔の人は願っていたということですね。その期待に応えられるよう、職員一同、邁進してまいります。

